

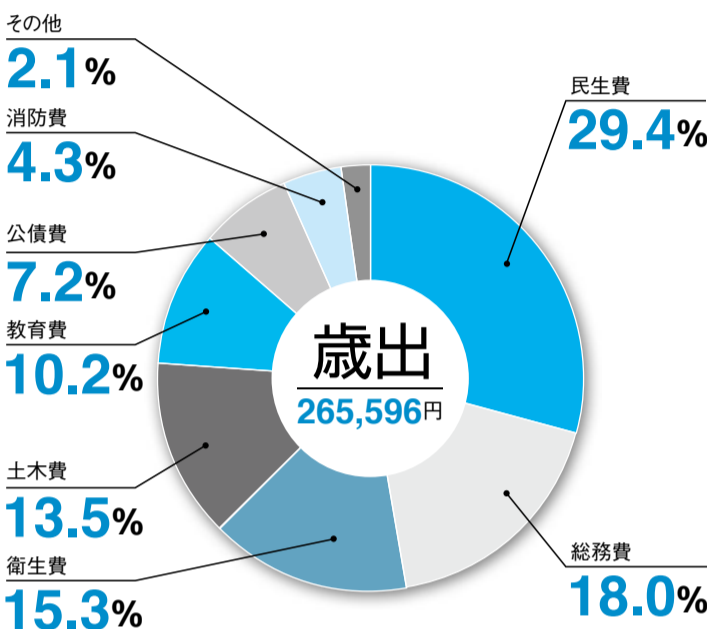
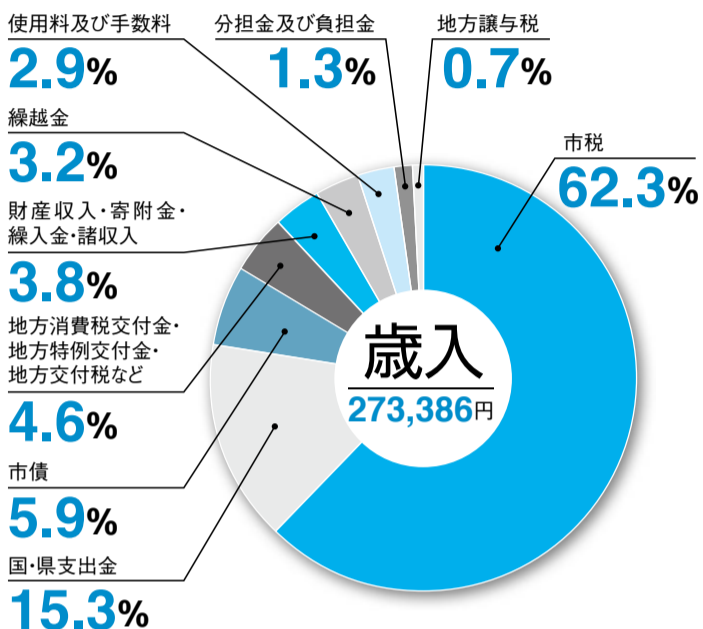
平成20年度

# 決算報告

平成20年度の決算状況をお知らせします。  
歳入・歳出の内容や、総合基本計画の目標に沿って実施した個別事業の決算額、財政の健全性に関する指標となる健全化判断比率なども併せてお知らせします。

## 平成20年度 一般会計のあらまし 市民1人当たりの歳入と歳出

市の人口 / 46万303人  
(平成21年3月31日現在・住民基本台帳人口)



歳入		273,386円
市税	皆さんが納めた税金	170,238円
国・県支出金	市の事業に対し、国や県から交付されたお金	41,839円
市債	国や金融機関などから借り入れたお金	16,259円
地方消費税交付金・地方特例交付金・地方交付税など	消費税の一部として県から交付されたお金、減税を補うために国から交付されたお金、所得税などの国税のなかから交付されたお金など	12,441円
財産収入・寄付金・繰入金・諸収入	市有地を売却して得たお金、寄付金、基金(貯金)を取り崩したお金など	10,419円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	8,786円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票などをとる時の手数料など	7,909円
分担金及び負担金	保育料や施設の入所費用など、特定の利益を受ける方に負担していただいたお金	3,485円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	2,010円

歳出		265,596円
民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉の費用	78,137円
総務費	文化振興や防災対策、情報化推進などの費用	47,750円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	40,692円
土木費	道路、河川、公園などの整備の費用	35,829円
教育費	小・中学校、幼稚園、生涯学習などの振興の費用	27,023円
公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	19,141円
消防費	消防・救急活動や災害対策の費用	11,302円
その他	商工業振興などの費用	5,722円

市民1人あたりの市債残高 157,191円

広報  
ICHIKAWA PUBLIC INFORMATION  
いちかわ

1月23日  
2010年(平成22年)  
決算特別号

発行:市川市  
編集:企画部広報広聴担当  
〒272-8501  
市川市八幡1-1-1  
TEL 047-334-1111  
FAX 047-336-2300  
ホームページ  
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

市の財政について  
ご意見・ご提案を  
お聞かせください  
— 財政課 —  
☎ 334-1110  
FAX 336-8033



## 決算収支 (財源・性質別)

一般会計 歳入・歳出差引額 35億8,603万円

### 依存財源

国・県から交付されたり  
借り入れたりしたお金

26.5%

333億9,410万円

- 地方譲与税
- 利子割交付金
- 配当割交付金
- 株式等譲渡所得割交付金
- 地方消費税交付金
- 自動車取得交付金
- 地方特例交付金
- 地方交付税
- 交通安全特別交付金
- 国庫支出金
- 県支出金
- 市債

### 自主財源

市が自主的に収入  
できるお金

73.5%

924億4,636万円

- 市税
- 分担金及び負担金
- 使用料及び手数料
- 財産収入
- 寄付金
- 繰入金
- 繰越金
- 諸収入

### その他の経費

38.1%

466億1,688万円

- 物件費
- 維持補修費
- 補助費等
- 繰出金
- 積立金
- 投資及び出資金・貸付金

### 投資的経費

建設工事などに使うお金

12.0%

146億594万円

- 普通建設事業費

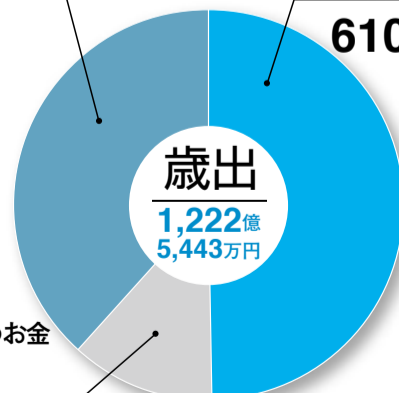
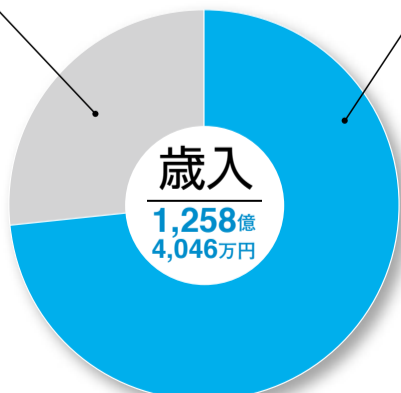
### 義務的経費

支出が義務付けられ、  
任意に節減できないお金

49.9%

610億3,161万円

- 人件費
- 扶助費
- 公債費



# 決算額

計画の5つの基本目標に分けてお知らせします。

## 豊かな文化と芸術を育むまち

### 旧行徳街並み整備事業

**2億3,574万円**

て建てられた旧行徳  
物を活かすとともに、  
て、行徳らしい街並み

と、かつての賑わいを復活させることを目的  
として、歴史的建物などを取得しました。

### 文化振興事業

**2,917万円**

市川にゆかりのある芸術家や文化人の業績を広く  
市民に紹介する文化人展、地域文化を掘り起こし、そ  
の地域の歴史や文化を活かした催しにより地域の活  
性化を図る街回遊展、市内文化団体に発表の場を  
設け、市民の交流や文化芸術活動の活性化を図る  
芸術祭・文化祭などを実施し文化振興に努めました。

### 記念館 策定事業

**00万円**

工などの公開実現に  
充を図るため、東山魁  
接地を取得しました。



## 自然が共生するまち

### 都市公園及び 用地の取得事業

**705万円**

設により、供用を廃止する公園の代  
目と新田2丁目に公園用地を取得す  
園、都市緑地として八幡東公園、国  
ました。



## 5.市民と行政がともに築くまち

### ボランティア・NPO 活動推進事業

**3,688万円**

市民が支援したい団体の事業を選び、個人市民税の1%  
相当額を支援する「市民活動団体支援制度運営事業」、指定  
するボランティア活動やエコロジー活動、市川市e-モニター  
のアンケートなどに参加し  
た市民に、ポイントを付与  
する「地域ポイント制度運  
営事業」、地域の身近な  
課題などについて市民と  
市が協働して課題解決に  
取り組む「協働事業提案  
制度運営事業」などの各  
種事業を実施することで、  
ボランティア・NPO活動  
団体を支援し、市民と行政  
との協働を推進しました。



## 3.安全で快適な魅力あるまち

### 災害対策本部整備及び 防災用品備蓄事業

**1億691万円**

市内の被災状況を迅速に把握するための高所カメラ  
を整備し、行徳本部(行徳支所)に非常用発電装置を設  
置。家屋の倒壊や焼失などで避難所での生活を余儀な  
くされた避難者に対して支給する用品を購入し、備蓄し  
ました。

### 消防施設装備の強化

**3億8,199万円**

消防活動、防火・防災活動、救急活動の充実を図る  
ため、消防車両の整備や消防水利等の整備を実施し  
ました。



### 防犯カメラ設置事業

**2,727万円**

地域の要望に基づいて、市内に50  
台のネットワーク型街頭防犯カメラを設  
置しました。



### 電線類地中化事業

**2億1,930万円**

安全で快適な歩行空間の確保、災害時の都市防災機能の向  
上と景観の向上を図るため、中山参道、寺町通り及び広尾防災  
公園周辺道路の無電柱化を進めました。

### 都市計画道路3・4・18号整備事業

**8億184万円**

国道14号交差点から本北方橋までの区間約1.6kmの整備を進め  
るため、用地取得、橋りょう工事などを行い事業進捗を図りました。

### 市川駅南口再開発公共公益 施設整備事業

**4億2,984万円**

I-Linkタウンの  
A街区地下1階に  
公共駐輪場、A・B

両街区の3階部分に図書館や行政サービスセンターなど  
の住民利便施設、またA街区最上階45階部分に眺望を活  
かした市民開放型の施設を設置するため、公益施設の内  
装建築、機械設備などの整備を進めました。



### 浸水対策事業

(排水路及び排水施設整備事業)

**10億2,174万円**

台風や集中豪雨などによる浸水被害を解消するため、  
時間雨量50mmに対応する幹線排水路や排水施設などの  
整備を進め治水安全度の向上を図りました。

### 広尾防災公園整備事業

**42億5,027万円**

平時は憩いやレクリエーションの場として、また、災害時は  
一時避難場所や被災救援拠点、輸送中継拠点となる広尾防  
災公園の平成22年4月の開設を目指して、20年度は用地の  
取得及び雨水貯留槽や基盤整備などの工事を行いました。

## 1. 真の豊かさを感じるまち

### 子育て支援

#### 乳幼児等医療対策事業

7億6,212万円

子育て家庭への経済的支援、乳幼児等の健全な育成のため、0歳児から小学校1年生までの乳幼児等を対象として入院・通院費などの一部を助成する医療費助成を実施しました。

#### 私立幼稚園就園奨励費補助金等支給事業

4億8,621万円

私立幼稚園や幼稚園類似施設に在園する園児の保護者に補助金を支給し、経済的負担の軽減と就園奨励を図りました。

#### 保育の実施

46億897万円

市立保育園28カ所、市内私立保育園25カ所及び市外の認可保育園において、家庭で保育ができない乳幼児、延べ66,458人の保育を実施し、その健全な育成を図りました。



### 健康

#### 健康診査・検診事業

13億6,972万円

妊婦乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、後期高齢者に対する健康診査などの健康診査や各種がん検診、肝炎ウイルス検査を実施し、妊婦・乳幼児から後期高齢者に至るまでの幅広い市民の健康維持に努めました。

#### ヘルシースクール推進事業

3,740万円

食生活の乱れや運動不足など、子どもたちを取り巻く健康問題に対応するため、小児生活習慣病検診、食事調査、運動指導などを実施し、健康について自ら考えて行動する子どもの育成に努めました。

#### 健康都市連合国際大会開催

3,186万円

市川市を会場とした初の国際学術会議「第3回健康都市連合国際大会」を開催し、加盟都市の代表者やWHOの関係者が一堂に会して、「健康で安全な都市社会」に向けて、「健康都市市川宣言」を世界へ向けて発信しました。



### 助け合い・支え合い

#### 地域ケアシステム推進事業

1,398万円

公共施設などに設置した「地域ケアシステム拠点」で、よろず相談、地域情報の収集・発信、誰もが気軽に参加することができるサロン活動の実施や、地域の課題などを話し合う「地域ケア推進連絡会」の開催など、地域住民が主体となって行う地域福祉活動を市川市社会福祉協議会と行政が支援し、福祉コミュニティの充実を図るための取り組みを実施しました。



## 平成20年度の

# 主な事業と

平成20年度に実施した主な事業の内容と決算額を、総合計

### 教育環境の充実

#### 少人数学習等担当補助教員事業

1億1,375万円

市立小・中学校に補助教員を配置し、少人数指導やチームティーチングなどを行い、分かりやすい授業ときめ細かな学習指導を進めました。

#### 小・中学校冷暖房設備設置事業

1億4,648万円

授業時間の増加や児童・生徒の学習への集中度を高めるために、市立小・中学校の普通教室にエアコンを設置して、学習環境の向上を図りました。

#### 幼稚園・小・中学校施設整備事業

8億5,632万円

幼稚園、小・中学校において、校舎・体育館の耐震補強改修を行うとともに、外壁・トイレ等の改修工事を行い、幼稚園、小・中学校における施設の充実を図りました。



### 2. 彩り

明治から昭和にかけての街道沿いの歴史的建築物失われた景観を再生して



#### 東山魁夷 拡充構想策

5億4,900万円

東山魁夷画伯のアトリエに向けて記念館施設の拡充策として、東山記念館と東山邸の隣接

### 4. 人と自然

#### 公園用地 都市緑地

7億

進行する外環道路建設用地として、稲荷木2丁目と併せて、新たに都市公府台緑地の用地取得し



# 各会計ごとの決算収支 単位:万円

## 一般会計

歳入(総額)	12,584,046	歳出(総額)	12,225,443
市税	7,836,086	議会費	77,270
地方譲与税	92,506	総務費	2,197,923
利子割交付金	36,274	民生費	3,596,687
配当割交付金	17,083	衛生費	1,873,054
株式等譲渡所得割交付金	5,685	労働費	17,307
地方消費税交付金	341,894	農林水産業費	27,120
自動車取得交付金	51,679	商工費	123,600
地方特例交付金	99,894	土木費	1,649,239
地方交付税	13,509	消防費	520,217
交通安全特別交付金	6,614	教育費	1,243,887
分担金及び負担金	160,427	公債費	881,051
使用料及び手数料	364,043	諸支出金	18,088
国庫支出金	1,402,715		
県支出金	523,147		
財産収入	42,552		
寄附金	30,853		
繰入金	156,421		
繰越金	404,428		
諸収入	249,826		
市債	748,410		

## 特別会計

歳入(総額)	8,972,389	歳出(総額)	8,630,104
国民健康保険	3,787,779	国民健康保険	3,628,995
下水道事業	884,492	下水道事業	856,758
地方卸売市場事業	15,048	地方卸売市場事業	14,818
老人保健	227,745	老人保健	222,390
介護老人保健施設	104,526	介護老人保健施設	98,691
介護保険	1,591,219	介護保険	1,560,767
市川駅南口地区市街地再開発事業	2,052,016	市川駅南口地区市街地再開発事業	1,945,732
後期高齢者医療	309,564	後期高齢者医療	301,953

## 公営企業会計

歳入(総額)	172,412	歳出(総額)	177,371
病院事業会計収益的収入	162,412	病院事業会計収益的支出	162,409
病院事業会計資本的収入	10,000	病院事業会計資本的支出	14,962

市川市の財政についての詳しい内容は、市のホームページでも公開しています。  
市のホームページ(トップページ) ▶ 市政情報 ▶ 市の組織 ▶ 財政部 ▶ 財政課

## 健全化判断比率と 資金不足比率

健全化判断比率 (地方公共団体の財政の健全性に関する指標)

平成20年4月から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(「財政健全化法」)が施行され、この法律により、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や、外郭団体を含めた実質的な将来負担などを表す指標(健全化判断比率)と、公営企業ごとの資金不足額を表す指標(資

金不足比率)を議会に報告し、公表を行うことになりました。

20年度決算に基づく本市の健全化判断比率及び資金不足比率は、下表のとおり、いずれも早期健全化基準等を下回り、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

指標名	内容	対象範囲	20年度算定結果	財政健全化法	
				早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合	一般会計等	—%	11.25%	20%
連結実質赤字比率	公営企業会計を含む、すべての会計を連結した実質赤字額の標準財政規模に対する割合	一般会計等 公営事業会計	—%	16.25%	40%
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合	一般会計等/公営事業会計 一部事務組合/広域連合	2.8%	25%	35%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額の標準財政規模に対する割合	一般会計等/公営事業会計/一部事務組合 広域連合/地方公社/第三セクター等	41.6%	350%	

資金不足比率 (地方公営企業の経営の健全性に関する指標)

指標名	内容	対象範囲	20年度算定結果	財政健全化法	
				経営健全化基準	—
資金不足比率	各公営企業における資金不足額の事業規模(事業収入)に対する割合	下水道事業会計	—%	20%	
		卸売市場事業会計	—%		
		南口再開発事業会計	—%		
		病院事業会計	—%		

※「20年度算定結果」欄の実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率の値が「—%」となっているのは、本市の各会計が黒字であり、算定の基礎となる赤字及び資金の不足額がないことによるものです。

## 平成21年度市川市民まちづくり債の利率が決定

**0.55% (5年満期の確定利率)**

1月発行の5年利付国債の表面利率に0.05%上乗せ

**購入申込期間 1月25日(月)~2月5日(金)**

詳しい内容を記載したリーフレットを市役所、行徳支所、大柏出張所、市川駅行政サービスセンター、公民館などの市内公共施設と千葉銀行(市川・本八幡・本八幡南・行徳・南行徳・中山・

高塚・矢切各支店)に設置しています。申し込みには、リーフレットの「申込はがき」をご利用ください。利息は、発行日の翌日(4月1日)起算で、年2回(3月31日と9月30日)銀行口座に支払われます。

応募者多数の場合は公開抽選で当選者を決定します。

**日時** 2月12日(金) 午前10時~正午  
**場所** 市役所3階第2委員会室

**発行額** 5億円

**発行者** 市川市

**発行日** 平成22年3月31日(水)

**満期日** 平成27年3月31日(火)

**応募要件** 市内に住民登録または外国人登録(平成22年2月1日時点)がある方で、満20歳以上(平成22年2月1日以前生まれ)の方。